

介護ロボット導入支援事業費補助金を活用された皆様へ

## 「未病指標」活用のお願ひ

### 未病指標について

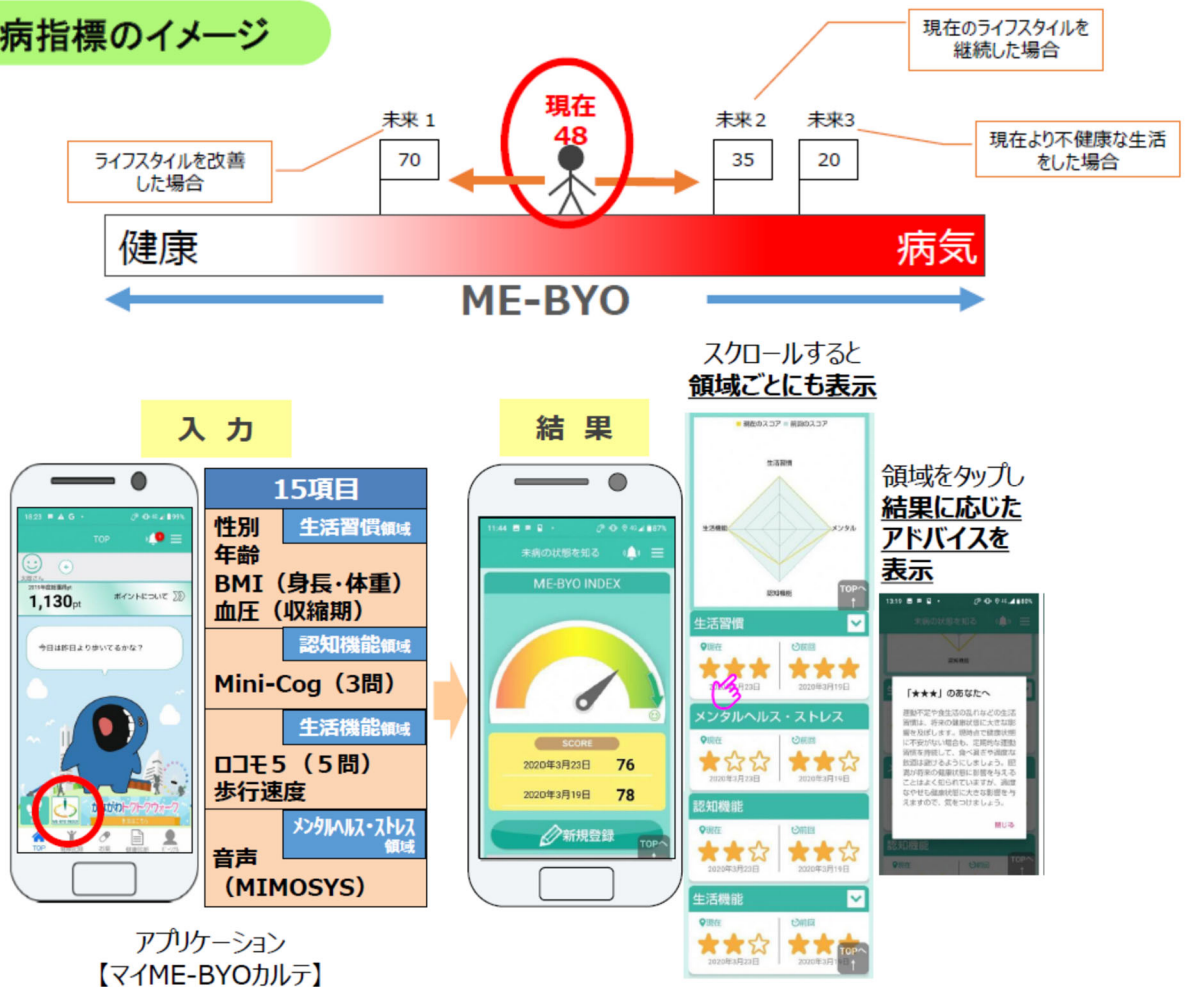
県では、健康と病気は二分論ではなくグラデーションであり、連続的に変化していくものであるという「未病」の考え方に立ち、「未病改善」の取組を進めています。

この「未病」の考え方は高齢者の心身の状態についても当てはまり、高齢者の心身の状態は自立、フレイル、要支援、要介護、またその状態が可変であるというように、連続的に捉え、どのような状態にあっても改善を支援するという考えに立って取り組んでいくことが重要です。

個人の未病状態を「見える化」して行動変容を促すため、県では WHO 等と連携して「未病指標」を開発し、令和2年3月 27 日から「マイ ME-BYO カルテ」に実装しました。

未病指標はスマートフォンやタブレットで簡単に測定することができます。

### 未病指標のイメージ



※未病指標については県ホームページもご覧ください。

<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/mv4/mebyo-index.html>

## 未病指標の介護現場での活用をお願いします！

未病指標はスマートフォン・タブレット(タブレットは iPad のみ対応。)でも簡単に測定できます。

利用者の心身の状態を把握する指標として、未病指標の活用をお願いします。

スマートフォン・タブレットへのアプリ(管理者用アプリ)のダウンロード方法や測定方法については、別添「未病指標」の測定手順(イベント等実施者用)を御確認ください。

### <県が目指していること>

令和3年度介護報酬改定では「自立支援・重度化防止」が改定のポイントとなり、一部の加算で状態の改善を評価するためのアウトカム指標が取り入れられました。

県としても「質の高いケアで利用者の状態の改善につなげた」ことを評価すべきと考えています。

しかし、現在用いられている評価指標(Barthel Index)には測定に手間がかかるとの声もあります。

一方、未病指標は利用者の心身の状態を数値で簡単に把握できることから、

- ①LIFEの収集項目として追加するとともに、
- ②「質の高いケアで利用者の状態の改善につなげた」ことのアウトカム評価として採用されることを目指します。

## 未病指標の測定データ提供に御協力いただける事業所を募集しています

未病指標が介護報酬算定における評価指標に採用されるためには、介護現場で広く使われていることに加え、状態の変化を示していることのエビデンスが必要になります。また、未病指標はまだ完成形ではなく、更なる精緻化に取り組んでいるところです。

つきましては、事業所で測定した未病指標のデータ等を御提供いただける事業所を募集しています。

(御提供いただきたい事項)

- 1 未病指標の測定データ(測定した端末内に記録されたCSVデータの送信)
- 2 測定した利用者のユーザーID、要介護度、Barthel Index(氏名は不要)

ご質問、ご協力いただける場合は、下記担当者までご一報くださるようお願いします。

### 【連絡先】

神奈川県高齢福祉課 企画グループ 依田(ヨダ)

メールアドレス fkaigo.48@pref.kanagawa.lg.jp